

令和元年度 基本事業評価シート（平成30年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 04 健康づくりの推進
基本事業 02 健康的な生活習慣の推進
主管課： 保健センター
関係課： 国保年金課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 市民が、自ら進んで生活習慣に気を付け、健康的な生活を営むことができるようにする。
------------------------	---

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

1年に1回健診を受けている市民の割合（％） 保健センター					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
79.60	80.20	80.40	80.50	80.50	80.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度と比較して0.2ポイントの微増で、引き続き目標値を超える80.40%となっています。 （原因）年代別では、40歳代が85.2％、50歳代が86.6％、職業別では、事務職が92.1％、専門的技術職が91.8％などと高い割合になっていることから、主に職域健診により受診している方が多いと考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

この1年間でがん検診を受診した市民の割合（％） 保健センター					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
50.00	49.10	51.00	52.50	54.00	55.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度と比較して1.9ポイント増の51.00%となりましたが、横ばい状況が続いています。 （原因）女性の受診率が55.4％なのに対し、男性の受診率が46.1％と低い状況です。また、女性は、乳がん及び子宮がん検診の受診率は高いものの、胃がん、大腸がん及び肺がん検診の受診率は低い傾向です。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

市民の健康習慣平均実践項目数（個） 保健センター					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
5.30	5.20	5.40	5.50	5.50	5.50
向上指針	上がると良い	（状況）一人当たりの健康習慣平均実践項目数は、0.2個増の5.4個となりました。 （原因）比較的50歳代以上は健康習慣の実施率が高く、40歳代以下は低い傾向にあります。特に、30歳代及び40歳代の運動習慣は20％台と低い状況です。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	高				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	127,799	131,229	132,181	163,934	163,763
人件費	30,886	31,777	27,347	0	0
トータルコスト	158,685	163,006	159,528	163,934	163,763

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

がん検診については、受診しやすい環境を整えるとともに、効果的な個別勧奨を行うことで受診率の向上を図る必要があります。また、働き盛りの比較的若い世代の運動習慣がある方の割合が低いため、ウォーキングなどの気軽に取り組める運動の推進に取り組めます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]